

## 【神仙組結党】

黒部の秘境、剣岳の奥のまた奥、「仙人谷」に仙人温泉小屋がある。

山川草木は輝き、沢には清流が滔々と流れる。それらが、春夏秋冬、季節の折々にたくさんの恵を与えてくれる。

そこにやって来る登山者を受け入れるために、普段は、高橋オーナーが一人であらゆることをこなしている。

正に「仙人」なのだ！

しかし、千手観音のような仙人とは言え、生身の人間、布団干し・水道・温泉のメンテナンス、はたまた登山道整備など、山小屋に関する維持管理を、なにからなにまで全てを行うには、いささか無理がある。

特に「小屋開け・小屋閉め」の時などは、どうしても人手が必要なのだ、また、ヘリで荷揚げした食料・物資が不足し、次のヘリの荷揚げまで、お客様の食事作りに窮する時などは、スタッフがボツカしなければならない。

そのような時、仙人から依頼があると、スタッフは、雲切新道を、重い荷物を背負って、苦も無くボツカするのである。

また、山小屋には入らずとも、人気沸騰の「小屋のホームページ」のメンテナンスや、高橋仙人が入山・下山の際など、陰に日向になり、仙人のバックアップしている多くの人達がいる。

## Chokomaka

### 神仙組の隊旗

この旗のもとに集結した！  
★隊旗初お披露目



そのような仲間の結束を、より一層強固にするために、高橋仙人は以前から考えていた策として、この度、そのメンバーの会の名を「神仙組」と命名したのであった。（「いいねエ——ッ」）

名前の発案は、仙人谷は、余りにも奥深く、深山幽谷の地であり、高橋仙人は、『仙人谷には神が宿っていそうだ!』と言うことと、昔から、太陽・山・

大きな樹・岩などには神が宿っているとして信仰され崇められてきた故事に習ったのだ。

そのようなことから、会の頭の字を、**神**とした。

ちなみに、立山などは、立山曼荼羅など、神の山としてきた「山岳信仰」もそのようなことからなのかも知れない。

そこで、仙人谷にも神が宿っていると考えのも、しごく当然のことだ！

次の「**仙**」は、正に仙人温泉小屋の「仙」を引用したのだった。

ここで、めでたく「**神仙組**」の誕生となった。

以上が、「神仙組」誕生の秘話である。

過日、(11月8日～9日)に、神仙組のメンバーが、御嶽山の麓に集い、「平成26年 小屋の打上げ」と「神仙組の発会式？」を行い、今期の反省と、来期の結束を誓い合った次第である。

(重鎮の「顧問」が同席出来なかったことが心残りである。)

さて、その席上、仙人曰く、『今年は、夏のお盆の時期、秋口の連休の際など台風・豪雨にやられた！』『小屋開け・温泉引き工事が遅れて10日も風呂無し生活を強いられた！』などなどの苦労話も出て、楽しいひと時を過ごした。

毎年の事ながら、小屋の営みは、ドラマチックだ！小屋のスタッフのトピックス、お客様が織り成すハプニング！それはそれは楽しい山小屋生活だ！！

### Chokomaka

末筆ながら

来期(平成27年)は、大勢のお客様の「御来湯」を願うとともに、それらのお客様の安全登山について、「**神仙組**」一同、心より願うものであります。

本年は、大変ありがとう御座いました。

来年も、仙人温泉小屋をご愛顧の程宜しく願い申し上げます。

では最後に

**！仙人温泉小屋 万歳！**

**！神仙組 エイッ！エイッ！オーッ！**

**完**



## 御嶽山遠望

H26.11.8

「御嶽山」の麓、濁河温泉は、写真、右奥！（★遠い！遠い！）



## 宴会風景

「神仙組」隊長五人衆と家族、そして常連のお客様

御嶽山の麓、濁河温泉（旅館 御岳）で、「小屋の打上げ」を行った。！始めて「隊旗」がお披露目された！



## 隊旗と高橋仙人

隊旗の前で、“悦”にしている高橋仙人

髭がいいねエー——ツ！ 正に、仙人そのものだッ！



## 「神仙組Tシャツ」ワン・ツー・スリー！！

とうとうTシャツまで作ってしまった。（★来シーズンは隊長・顧問にを着てもらおうかな？）

- 左から① ② ③
- ①ノースリーブタイプ  
背中：「神仙組」
  - ②Tシャツタイプ  
背中：「神仙組」  
前（胸にSENNIN ONSEN）
  - ③Tシャツタイプ  
前：胸に「神仙組」（小さい字で）



### 【解説】

- ①は背中のみ ②の背中 ③の胸に「神仙組」
- 「神仙組」
- mont·bellのロゴの下に神仙組
- ②の胸にブルックスプラザーズのロゴの下にSENNIN ONSEN
- ?ハテ？ どれかが良いか？

## 神仙組の組織について

（高橋仙人の動機と組織など） ★HPのトピックスにも掲載あり

仙人温泉小屋に集う男達の結束をより強めるために、会を作ろうと思っていた。その名称を考えていたが、しっくりした名称が浮かばなかった。

経営者の独断で「神仙組」と名付ける事にした。

仙人谷には神が宿っているようなので、この谷に集う男達の会の名称として、神仙組と命名した。

### 元 籍：仙人谷に宿る神

一番隊長：高橋 重夫 64歳  
二番隊長：大西 達矢 55歳  
三番隊長：小野 岳 55歳  
四番隊長：小森 武夫 67歳  
五番隊長：田中正裕紀 56歳

### 顧問

勝野 惇司 64  
堀江三太 63歳

仙人温泉小屋を運営する五人衆

高橋仙人